

記載例について

注意点

本記載例は、マニュアル(案)の様式を元に作成されております。

様式は、作業規程の準則に反映された際に若干の様式の修正がされている場合があります。また、様式の番号も変わっております。

帳票の作成は最新の作業規程の準則に掲載されている様式を使用し、本記載例は参考資料として御使用ください。

キャリブレーション記録簿（その1）

システム名	Pegasus: Two	実施年月日	#### 年 ## 月 ## 日	
実施機関名	(株) ○○○○○○	実施者	○○ ○○	
実施場所	○○県○○○市	固定局	電子基準点 ○○○○○	
機器配置図				
カメラ①				
配置位置	製品名	焦点距離	画素数	記録頻度
前左部	BASLER ACE	8 mm	2046×2046	—
オフセット値		キャリブレーション値		
測定年月日	#### 年 ## 月 ## 日	校正年月日	—	
補正量 X	0.004	補正量 ロール	—	
補正量 Y	-0.010	補正量 ピッチ	—	
補正量 Z	-0.011	補正量 ヨー	—	
※カメラの台数分作成する				

注 1 . キャリブレーション記録簿は、システム毎に書式や記載内容が変わる。

キャリブレーション記録簿（その2）

レーザ①				
配置位置	製品名	照射数	走査回数	走査角
後上部	Z+F Profiler9012	—	—	—
オフセット値		キャリブレーション値		
測定年月日	#### 年 ## 月 ## 日	校正年月日	—	
補正量 X	-0.001	補正量 ロール	—	
補正量 Y	0.001	補正量 ピッチ	—	
補正量 Z	-0.001	補正量 ヨー	—	
※レーザの台数分作成する				
		点検者	○○ ○○○	

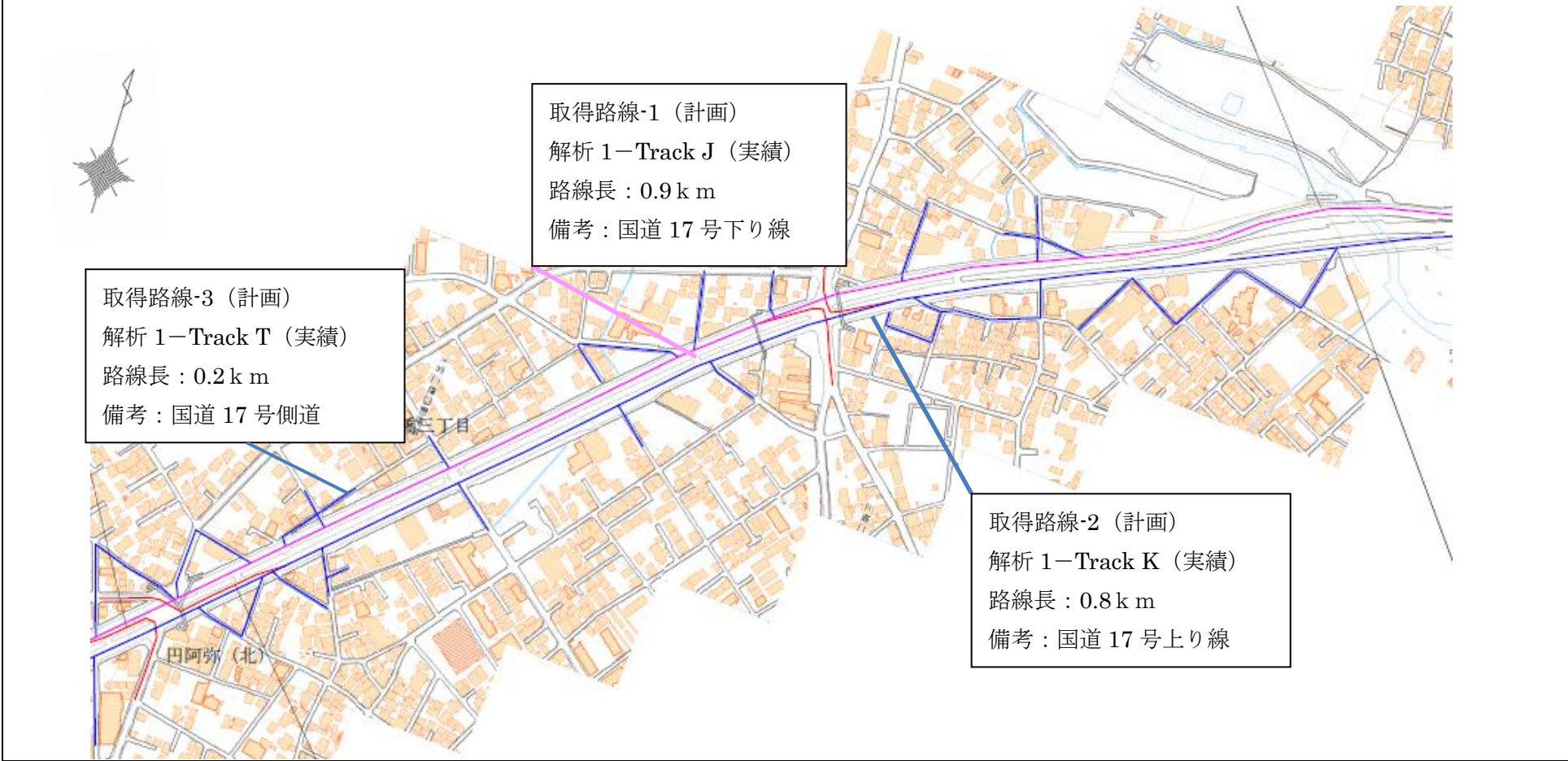
取得計画図

地区名	〇〇〇〇	走行路線名	〇	作業機関	(株) 〇〇〇〇〇〇	主任技術者	〇〇 〇〇
作業予定	日時	#### 年 ## 月 ## 日 ## 時 ## 分 ~ ## 時 ## 分		最少衛星数	8	最大 DOP 値	3.0

用紙の大きさはA4判とする。

取得実績図

地区名	〇〇〇〇	走行路線名	〇	作業機関	(株) 〇〇〇〇〇〇	作業者	〇〇 〇〇
取得年月日	#### 年 ## 月 ## 日	取得時間	## 時 ## 分～## 時 ## 分			点検者	〇〇 〇〇〇



注 取得実績は図又は表として作成する。

取得実績表

地区名	〇〇〇〇		走行路線名	〇	作業機関	(株) 〇〇〇〇〇〇	作業者	〇 〇〇
取得年月日	#### 年 ## 月 ## 日		取得時間	## 時 ## 分~## 時 ## 分			点検者	〇〇 〇〇〇
取得路線名	路線長 (km)	開始時間	終了時間	天候	平均速度	最低速度	備考	
Track-J	0.9	##:##	##:##	晴れ	## km/h	0 km/h		
Track-K	0.8	##:##	##:##	晴れ	## km/h	0 km/h		
Track-T	0.2	##:##	##:##	晴れ	## km/h	0 km/h	一部上空視界不良	

注 取得実績は図又は表として作成する。

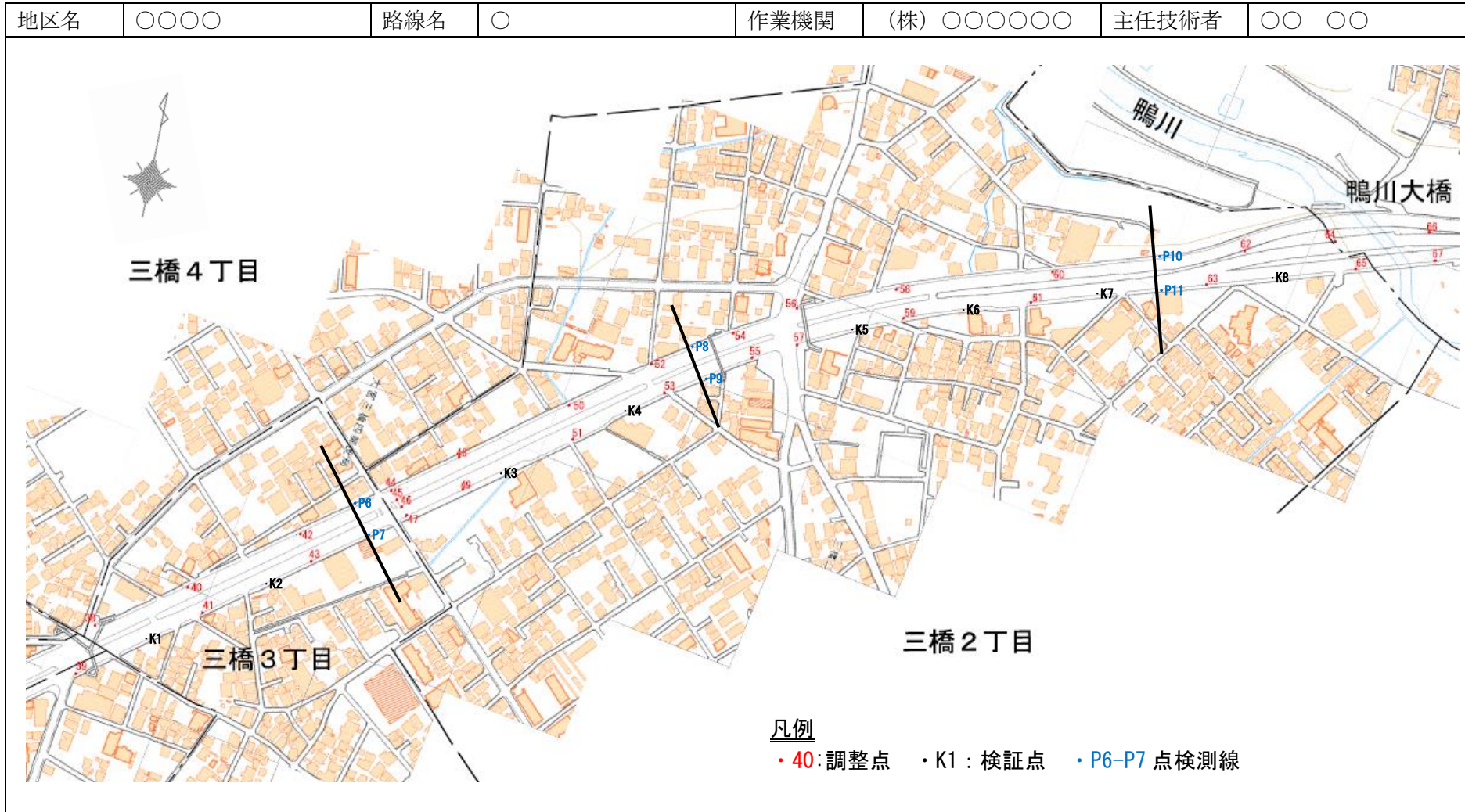
固定局明細表

世界測地系（測地成果〇〇〇〇）
ジオイド・モデル〇〇〇〇 Ver〇

点 名	大宮	1/2.5万地形図名	岩槻	観測者	——
観測年月日	####/##/##	標 識 種 類	電子基準点	点検者	——
所 在 地	埼玉県さいたま市見沼区堀崎町12番39				
所 有 者	さいたま市（管理者：さいたま市公園緑地課）				
座 標 系	平面直角座標 9 系				
座 標	X	-6922.215m	標 高	16.697m	
	Y	-16373.081m			
経 緯 度	B	35° 56' 14" .8954			
	L	139° 39' 06" .7160			
電子基準点番号	93013				
G N S S 測 量 機	——		解析ソフト名	——	
エポック間隔	——		仰 角	——	
アンテナ高	——m		観 測 時 間	— h — m	
P D O P	——		衛 星 数	——衛星	
平 面 位 置 図			観 測 写 真		
					

用紙の大きさはA4判とする。

調整点・検証点配点図



用紙の大きさはA4判とする。

調整点明細表

世界測地系 (測地成果〇〇〇〇)

ジオイド・モデル〇〇〇〇 Ver〇

点名	39	設置年月日	####年#月#日	作業者	〇 〇〇〇
取得路線	2	1/2.5 万図名	与野	点検者	〇 〇〇〇
座標系	X ・ N		Y ・ E		H
9	-11636.068	-20403.671	12.263		

地上写真 (近景)



用紙の大きさはA4判とする。

調整点検証精度管理表 (標高)

ジオイド・モデル〇〇〇〇 Ver〇

地区名		〇〇〇〇				主任技術者		〇〇 〇〇	
						点検者		〇〇 〇〇〇	
番号	点名	調整点の 標高	オリジナル データの平均 標高	較差 ΔH	番号	点名	調整点 の標高	オリジナル データの平均 標高	較差 ΔH
1	39	12.263	12.243	0.020	11	59	9.284	9.276	0.008
2	41	11.831	11.837	-0.006	12	61	9.715	9.730	-0.015
3	43	11.239	11.248	-0.009	13	63	10.206	10.218	-0.012
4	45	11.149	11.132	0.017	14	65	9.863	9.853	0.010
5	47	10.736	10.748	-0.012	15				
6	49	9.849	9.839	0.001	16				
7	51	9.448	9.442	0.006	17				
8	53	10.864	10.876	-0.012	18				
9	55	11.037	11.015	0.022	19				
10	57	10.568	10.586	-0.018	20				

	データ数	平均値 (m)	最大値 (m)	最小値 (m)	最大値 - 最小値	標準偏差 $= \sqrt{\frac{\sum(\Delta H)^2}{n-1}}$
計測範囲全域の 調整点との差	14	0.013	0.022	0.006	0.016	0.014

用紙の大きさはA4判とする。

調整点検証精度管理表(水平位置)

世界測地系(測地成果○○○○)

地区名		○○○○				主任技術者	○○ ○○		
						点検者	○○ ○○○		
番号	点名	調整点の 水平座標		オリジナルデータの 水平座標		調整点と 三次元計測データの差			
		X (①)	Y (②)	X (③)	Y (④)	ΔX (③-①)	ΔY (④-②)	ΔXY	
1	39	-11636.068	-20403.671	-11636.072	-20403.656	0.004	-0.015	0.016	
2	41	-11543.894	-20503.900	-11543.887	-20503.898	-0.007	-0.002	0.007	
3	43	-11464.748	-20589.489	-11464.755	-20589.486	0.007	-0.003	0.008	
4	45	-11410.128	-20675.218	-11410.11	-20675.188	-0.012	-0.003	0.012	
5	47	-11395.782	-20664.643	-11395.788	-20664.654	0.006	0.011	0.013	
6	49	-11354.632	-20708.328	-11354.637	-20708.327	0.005	-0.001	0.005	
7	51	-11273.662	-20792.884	-11273.665	-20792.871	0.003	-0.013	0.013	
8	53	-11208.332	-20867.210	-11208.333	-20867.209	0.001	-0.001	0.001	
9	55	-11141.887	-20930.051	-11141.884	-20930.052	-0.003	0.001	0.003	
10	57	-11106.012	-20958.054	-11106.004	-20958.060	-0.008	0.006	0.010	

	データ数	平均値(m)	最大値(m)	最小値(m)	最大値- 最小値	標準偏差 $= \sqrt{\frac{\Sigma(\Delta X)^2}{n-1}}$
計測範囲全域の Xの差						

	データ数	平均値(m)	最大値(m)	最小値(m)	最大値- 最小値	標準偏差 $= \sqrt{\frac{\Sigma(\Delta Y)^2}{n-1}}$
計測範囲全域の Yの差						

	データ数	平均値(m)	最大値(m)	最小値(m)	最大値- 最小値	標準偏差 $= \sqrt{\frac{\Sigma(\Delta XY)^2}{n-1}}$
計測範囲全域の XYの差						

注 必要に応じて作成するものとする。

用紙の大きさはA4判とする。

点密度検証精度管理表

地区名	〇〇〇〇			主任技術者	〇〇 〇〇印		
	〇〇〇〇			点検者	〇〇 〇〇〇印		
図名	全格子数	点密度不足格子数	不足格子率(%)	図名	全格子数	点密度不足格子数	不足格子率(%)
与野	10,000	200	0.02				
大宮	10,000	400	0.04				
全域平均	0.03	最 小	0.02	最 大	0.04		

用紙の大きさはA4判とする。

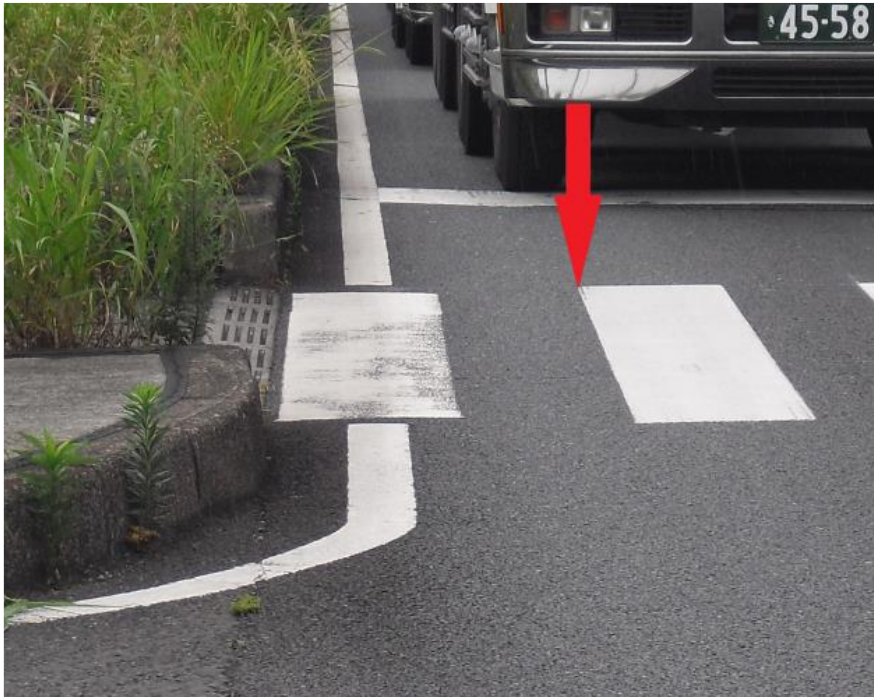
検証点明細表

世界測地系（測地成果〇〇〇〇）

ジオイド・モデル〇〇〇〇 Ver〇

点名	46	設置年月日	####年#月# 日	作業者	〇 〇〇〇
取得路線	2	1/2.5 万図名	与野	点検者	〇 〇〇
座標系	X ・ N	Y ・ E	H		
9	-11,403.389	-20,670.339	10.972		

地上写真（近景）



用紙の大きさはA4判とする。

合成結果精度管理表

世界測地系（測地成果〇〇〇〇）
ジオイド・モデル〇〇〇〇 Ver〇

作業名	平成 30 年度 〇〇〇〇業務委託	走行路線名	国道〇〇号・ 〇〇〇道路	計画機関	〇〇国道事務所	主任技術者	〇〇 〇〇
地区名	〇〇〇〇	システム名	Pegasus Two	作業機関	(株) 〇〇〇〇〇〇	点検者	〇〇 〇〇〇

No.	特徴点座標			ファイル名 (1)			ファイル名 (2)			ファイル名 (3)			ファイル名 (4)			備考
	X	Y	H	dX	dY	dH	dX	dY	dH	dX	dY	dH	dX	dY	dH	
55	-11141.887	-20930.051	10.864	0.015	0.018	0.011										
57	-11106.012	-21043.270	11.037	-0.005	0.011	0.022										

- 注 1. 特徴点座標には、全ファイルを座標変換して合成する場合には合成結果を、また、特定のファイルを基準にして合成する場合には特定ファイルでの座標を記載する。
2. 合成の基準となったファイルの残差は 0 となる。
3. 許容範囲は 1 画素。

用紙の大きさは A 4 判とする。

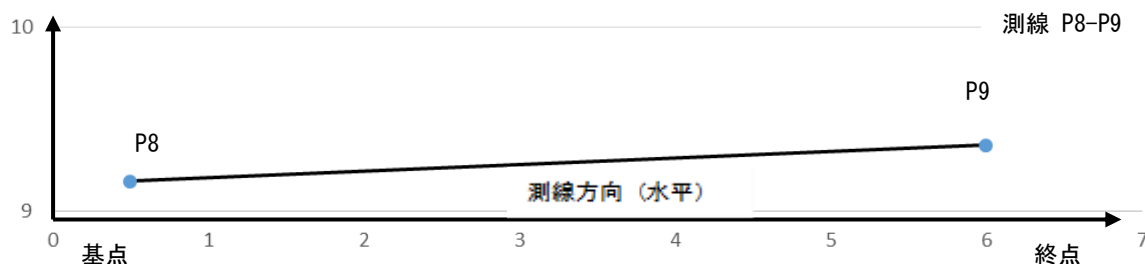
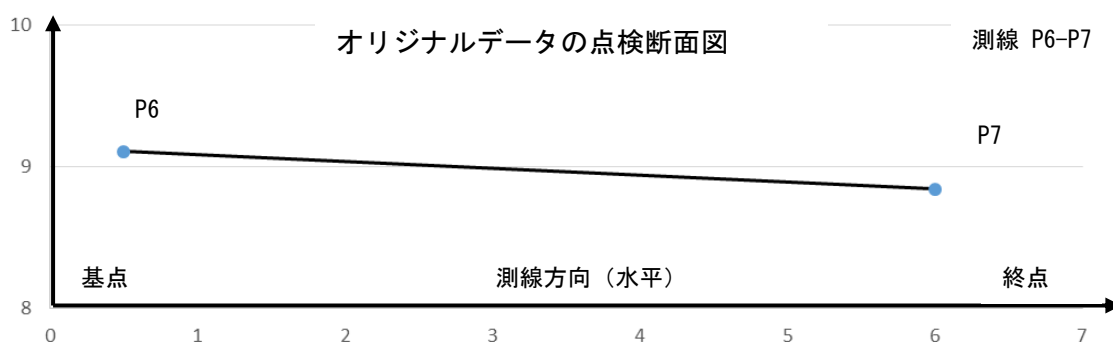
点検測量結果精度管理表(MMS再計測)

ジオイド・モデル○○○○ Ver○

地区名		○○○○		主任技術者	○○ ○○
				点検者	○○ ○○○
点検測量手法		MMS再計測		要求仕様 制限値	標高(ΔH) ±0.1m以内
計測範囲面積 (m ²)		14,400m ²	点検測量面積 (m ²)	288m ²	点検測量率 (%) 2%
番号	点検箇所名	点検測量成果 の 平均標高	オリジナルデータの 平均標高	較差 ΔH	合否
1	P6 石積角	9.118	9.108	0.010	
2	P7 路面標示角	8.833	8.842	-0.009	
3	P8 L字側溝角	9.172	9.163	0.009	
4	P9 白線角	9.354	9.359	-0.005	
5	P10 路面標示角	9.414	9.420	-0.006	
6	P11 横断歩道白線角	10.606	10.600	0.006	
較差の平均				0.008	
較差の標準偏差				0.008	合

用紙の大きさはA4判とする。

注 点検箇所及び断面箇所は、様式5の調整点・検証点配点図に記入する。



点検測量結果精度管理表(検証点・標高)

ジオイド・モデル〇〇〇〇 Ver〇

地区名		〇〇〇〇		主任技術者	〇〇 〇〇 印
				点検者	〇〇 〇〇 印
点検測量手法		検証点設置		要求仕様 制限値	標高(ΔH) ±0.1m以内
番号	点名	点検測量成果の 標高	オリジナルデータの 平均標高	較差 ΔH	合否
1	K1	11.812	11.808	0.004	
2	K2	11.264	11.255	0.009	
3	K3	10.987	10.991	-0.004	
4	K4	10.972	10.980	-0.008	
5	K5	10.039	10.036	0.003	
6	K6	9.609	9.618	-0.009	
7	K7	10.412	10.406	0.006	
8	K8	10.859	10.851	0.008	
較差の平均				0.006	
較差の標準偏差				0.007	合

用紙の大きさはA4判とする。

注 検証点の配置は、様式5の調整点・検証点配点図に記入する。

点検測量結果精度管理表(検証点・水平)

世界測地系(測地成果○○○○)

地区名		○○○○				主任技術者	○○ ○○			
点検測量手法		検証点設置				要求仕様 制限値	ΔX	±0.1m 以内	ΔY	±0.1m 以内
番号	点名	点検測量成果の 水平座標		オリジナルデータの 水平座標		点検測量成果とオリジナルデータの 較差と合否				
		X (①)	Y (②)	X (③)	Y (④)	ΔX (③-①)	合否	ΔY (④-②)	合否	
1	K1	-11566.457	-20521.638	-11566.452	-20521.650	-0.005		0.012		
2	K2	-11484.683	-20610.074	-11484.686	-20610.071	0.003		-0.003		
3	K3	-11418.570	-20681.343	-11418.562	-20681.328	-0.008		-0.015		
4	K4	-11403.389	-20670.339	-11403.398	-20670.345	0.009		0.006		
5	K5	-11369.822	-20735.873	-11369.823	-20735.884	0.001		0.011		
6	K6	-11289.167	-20821.912	-11289.169	-20821.894	0.002		-0.018		
7	K7	-11230.358	-20888.636	-11230.362	-20888.641	0.004		0.005		
8	K8	-11167.641	-20945.381	-11167.634	-20945.372	-0.007		-0.009		
9										
10										
較差の平均						0.005		0.010		
較差の標準偏差						0.006	合	0.012	合	

用紙の大きさはA4判とする。

- 注1. 検証点の配置は、様式5の調整点・検証点配点図に記入する。
 2. 必要に応じて作成するものとする。

点検測量結果精度管理表(横断測量)

ジオイド・モデル〇〇〇〇 Ver〇

地区名		〇〇〇〇		主任技術者	〇〇 〇〇 印	
				点検者	〇〇 〇〇〇 印	
点検測量手法		横断測量		要求仕様制限値	標高(ΔH)	±0.1m以内
測線番号	箇所番号	起点からの距離(m)	点検測量成果の標高	オリジナルデータの標高	較差 ΔH	合否
1	1	0.5	10.736	10.745	-0.009	
	2	3.5	10.742	10.755	-0.013	
	3	4.5	10.740	10.769	-0.029	
	4	6.2	10.751	10.771	-0.020	
2	1	0.7	10.507	10.512	-0.005	
	2	3.9	10.492	10.500	-0.008	
	3	5.5	10.553	10.540	0.013	
	4	7.2	10.552	10.541	0.011	
較差の平均					0.014	
較差の標準偏差					0.016	合

用紙の大きさはA4判とする。

注 点検箇所及び断面箇所は、様式5の調整点・検証点配点図に記入する。

